

令和7年度国庫補助事業
重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品美術工芸品保存修理事業概要

1 事業対象の文化財の概要

重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」(所有者：広島県)
平成16年6月8日指定

2 事業目的

広島県福山市の芦田川の河口で見つかった、鎌倉時代から室町時代にかけて営まれた港町「草戸千軒町遺跡」から出土した考古資料のうち、重要文化財に指定された2,930点について、保存と活用を図るために、特に傷みのある資料から保存修理を行う。

3 全体の事業期間

令和7年度は、第V期5か年計画の1年目に当たる。
今年度は、令和7年4月から令和8年3月にかけて、金属製品2点、墨書木製品1点、土器・土製品1点、石製品1点の保存修理を行う。

4 収支計画

(1) 収入の部

(2) 支出の部

区 分	金 額	備考	区 分	金 額	備考
所有者負担額	円 1,403,000		(項) 修理費 (目) 委託料	円 2,583,900	
国庫補助額	1,402,000		(項) 事務費 (目) 旅 費 (目) 需用費	63,570 157,530	
合 計	2,805,000		合 計	2,805,000	

5 本年度の修理内容の概要

(1) 金属製品（指定番号 飾金具 4（26M00005））

長さ 4.4cm、幅 1.2 cm の銅製飾金具である。表面に錆が浮いてきていたため、保存修理を行った。

修理では、まず、表面のクリーニング及びエタノール洗浄を行った。その後、BTA による防錆処理、樹脂の含浸及び塗布を行い、仕上げにつや消し処理を行った。



修理前の状況



修理後の状況

(2) 金属製品（指定番号 小玉 1（07M00013））

直径 1.5cm の球形金属製品である。中空であり、2 か所に穿孔がある。表面に錆が浮いてきていたため、保存修理を行った。

修理では、まず、表面のクリーニング及びエタノール洗浄を行った。その後、BTA による防錆処理、樹脂の含浸及び塗布を行い、仕上げにつや消し処理を行った。



修理前の状況



修理後の状況

(3) 墨書木製品（指定番号 板塔婆 7（29X00001））

長さ 27.1cm、幅 3.1cm の板塔婆である。過去に保存処理を行っているが、補填が十分でなく、表面の亀裂、波打ち及び反りが目立ってきていたため、再度保存修理を行った。

修理では、まず、表面をクリーニングした後、波打ち及び反りの矯正を行った。その後、亀裂やササクレを接着剤又は膠水溶液で接着するとともに、脆弱部を樹脂で補填し、捕彩を行った。また、資料の大きさに合わせた専用の支持台を作成した。



修理前の状況



広島県立歴史博物館 25007(後) 1



修理後の状況（上：支持台なし、下：支持台あり）

(4) 土器・土製品（指定番号 亀山 14 (35000074)）

残存部分の高さ 41.6 cm、胴部最大径 45.1 cmの亀山焼（甕）である。発掘調査では、内部に一万枚を超える古銭が納められた状態で出土した。破片を接合し、頸部から底部にかけて復元した上で展示していたが、接合部が脆くなっていたため、保存修理を行った。

修理では、まず、土器に付着した接着剤及び石膏を除去し、土器を一度解体した後、破片に対してクリーニング及び強化処置を行った。その後、破片を再接合するとともに、脆弱部を樹脂で補填し、捕彩を行った。再接合に当たっては、従来接合されていなかった口縁部の破片を新たに接合した。また、自重によって土器に掛かる負担を軽減するため、専用の支持台を作成した。



修理前の状況（左：頸部より下の部分、右：接合前の口縁部破片）



修理後の状況（左：支持台なし、右：支持台あり）

(5) 石製品（指定番号 石塔 29 (32Q00361)）

高さ 20.1 cm、径 16.4cm の五輪塔（空風輪）である。表面が脆くなり、粉状の剥落が目立ってきていたため、保存修理を行った。

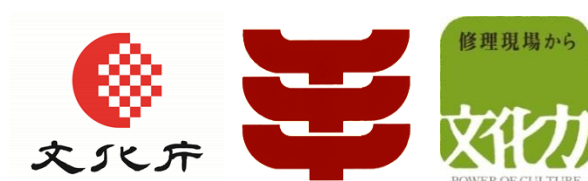
修理では、表面をクリーニングし、脆弱部のみ樹脂で予備的に強化した後、全体に石材強化剤を含浸した。



修理前の状況



修理後の状況



本事業は、文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。
Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2021